

平成 30 年度
第 4 回 社会教育委員会・公民館運営審議会 会議録

日 時 平成 31 年 3 月 14 日（木） 午前 10 時～午前 11 時 28 分

場 所 北杜市役所 西会議室

出席者 篠原隆美、小泉優子、仲田俊朗、内藤久敬、坂本正子、板山國夫、大久保さかえ、
藤森富士夫、齊藤けさ子、仁科陽一、今井三津子、堀内弘、小林紀子、溝口克己、

欠席委員 赤岡けさみ、栗澤雅子

教 育 教育長 堀内正基
委員会

事務局 生涯学習課長 小尾正人
社会教育担当リーダー 長田恵美子
社会教育担当 高柳直哉

議 事 (1) 北杜ふれあい塾について
(2) 平成 31 年度北杜市生涯学習計画（案）について
(3) その他

公開・非公開の別：公開

傍聴人の数：なし

1. 開会（公民館運営審議会 副会長）

2. あいさつ（社会教育委員会 議長）

3. 平成 30 年度 第 4 回社会教育委員会・公民館運営審議会協議事項

【北杜市公民館運営審議会会議規則第 2 条第 2 項の規定により、内藤会長が議長となる】

（議 長） 協議事項 1 「北杜ふれあい塾について」を事務局からの説明を求める。

（事務局） 資料で説明

（議 長） 事務局から説明がありました。第 6 回目のおよその日程はいつか。

（事務局） 山梨大学片野先生の希望で日程を調整しています。

（議 長） 質問はありますか。ないようなので次の議題にうつります。

（事務局） 資料で説明

- (議 長) 平成31年度の生涯学習計画の説明がありました。みなさんから質問なりご意見ををお願いします。
- (委 員) 体育協会の理事のうち、各スポ推の代表者は1名ではないですか。
- (事務局) 1名に訂正します。
- (委 員) まなびの杜パスポート制度を今年度新規に取り組んだが、最終はどうなるのか。
- (事務局) 4月1日から30日の間にカードの提出をしていただき、ゴールド、シルバー、ブロンズの認定証と副賞を交付することになっています。その案内を、平成31年度前期のまなびの杜情報誌の裏のページに記載しました。その他に、広報、ホームページ、CATVなどでも案内していきます。
- (委 員) 1年間委員として関わりを持ってきた。まなびの杜パスポート制度の成果と反省が前回の会議で報告され、なかなか良い制度だった。担当が替わり内容がわかりにくかったが、来年度も継続していこうとするならば、補完し強力なものにしていったらどうか。講座の機会がたくさんあれば市民のために良いことである。生涯学習課が把握している講座だけでなく、市民が自主的に行っている講座や自分に関わっている講座も、生涯学習の一環として載せてもらい範囲を拡大していったらどうか。少なくとも部局を超えて開催している講座は、情報誌に載せていったらどうか。また、10ページの記載も大きく扱っても良いと思う。確認だが、2ページから8ページまでは、総合計画との関連もあるので協議が不要なのか。
- (事務局) 3ページから8ページは上位の総合計画を受け作成しているため、多少の字句の訂正はしたが説明を省かせてもらいました。
まなびの杜パスポート制度は今年度470名を超える参加者であった。各方面より評価を頂いている。この制度には、各部局を超えた中で取り扱うように要望がきており、連携することをテーマに取り組んでいる。社会教育講座では、介護・健康・防犯等様々な内容で開催しているが、生涯学習課と所管課でターゲットを同じとする講座ならば、合わせもって開催していくことで、事業のスリム化、精査が図れる。また各種講座に来ていただく為に、パスポート制度を活用していく。歴史講座については、学術課で歴史講座や縄文文化の講座等を実施しており、教育委員会全体として位置付けたため、今回は計画から外した。まなびの杜パスポート制度については、初期の目的を謳いながら追加修正し教育委員会に上程する。
- (議 長) 部局別に事業を立ち上げているが、いい事業をしているが被ってしまっていてもったいないと感じていた。他部局との連携は大事だと思った。
- (委 員) 区長をしていたため、広報や各事業のチラシの回覧をしていたが、各事業を連携していただけると、配布する方も助かる。
- (事務局) 社会教育委員会議の意見として受け止めた。また、各担当の事業で生涯学習課と同じ目的の事業であればと、平成31年度打ち合わせをしながら予算計上した。少しずつでもわかりやすい案内ができるよう、また市民にとって成果が上がるような企画をしながら進めていきたい。
- (委 員) 元号が変わる時の計画はどのような表現になるのか。また8ページの予算はどうなるのか。
- (事務局) 平成31年度の表記については、検討する。8ページについては議会の議決後に

平成31年度の予算で表記する。

(委 員) 学校教育と地域との関わりについて、青少年育成の内容は盛り込まれている。関ブロの研修の折も学校との関わりのある発表があった。学校教育との関連は今後盛り込んでいく必要があると思うが如何か。

(事務局) 学校教育の関わりについては、今後教育委員会全体として調整していく。

(委 員) 10ページの生涯学習について、山梨大学との連携事業は県立図書館で夜の開催であった。昼間の時間帯で北杜市での開催であれば参加しやすいと思う。また、富士見町、原村、北杜市の広域間交流であるが、以前参加したが流れはどうか。

(事務局) 山梨大学との連携事業の時間帯については、大学側と検証を重ねながら企画開催している。北杜市には施設もたくさんあるので、参加しやすい時間を含め今年度は市内での開催を提案している。その他の生涯学習課事業についても、終了後アンケートを取り、結果を反映させながら企画している。八ヶ岳定住自立圏については広域圏として、各分野において連携し、それぞれの地域の良さをPRすることで事業実施している。生涯学習計画には明記していないがまなびの杜には掲載したり、単独事業はチラシの配布などを行っている。3市町が中心が北杜市であることから、事業の主が北杜市となっている。相互に連携しながら実施しているが、多くの方の目にふれるようにしていく。

(委 員) 日程にも影響があると思うが、大学連携事業となるとポスターやチラシの表現が難しいので、市民にわかりやすい表現であれば参加しやすいと思うし、市民のニーズに合っていると思う。

(事務局) ポスターやチラシがわかりづらいことは、大学にも伝えてある。事業の趣旨とすれば補助事業の表記には規定があるが、デザインやテーマについてはわかりやすいものにするよう意見は出していきたい。

(議 長) タイトルや内容は大衆的で興味深いものの方がよい。

(委 員) 資料15ページの外郭団体自立促進事業は体協を追加したほうが良い。また、社会教育と生涯学習について根本的には、人寄せのために講座等を開催することではなく、自主的な活動、自主運営を推進することの方が重要なことであると思う。総合計画では、市民のニーズを把握し機会の提供と地域の自主的な活動グループの支援を図るとある。また、体育の部分では、指導者の養成や選手の育成を図るとあるが、学び手自身が活動していく気持ちを作っていくこととし、そのための手立てとして各種講座や機会を提供し、集った人たちを一つにまとめていくことを支援することを目指すという方向でなければならないと思う。

(事務局) 生涯学習計画の基本構想は総合計画を受け作成したものであり、どちらが優先ということではなく教育における分野で目指すことを明記したもの。教育委員会での機会の提供とは、きっかけを作るために講座を提供することであり、その講座により、各地区での企画の要望には、まなびも杜タレントバンクの情報を提供し、自ら学べるきっかけを併せ持って現在も進めている。委員のご意見と同じ考え方です。

(委 員) 社会教育主事と社会教育委員の役割をすみわけしないといけない。われわれは地域から出ている社会教育委員であり、自ら学んでいかなければならない。自分達

の得意分野で参画していくことが社会教育委員の役割だと思う。

(議 長) 社会教育委員と社会教育主事それぞれの立場で、市民のために頑張っていくということ。他になければその他に進みます。

(委 員) 山梨県社会教育委員協議会の報告

(副会長) 第3回社会教育委員会議・公民館運営審議会を終了します。

閉会 (午前 11 時 28 分)